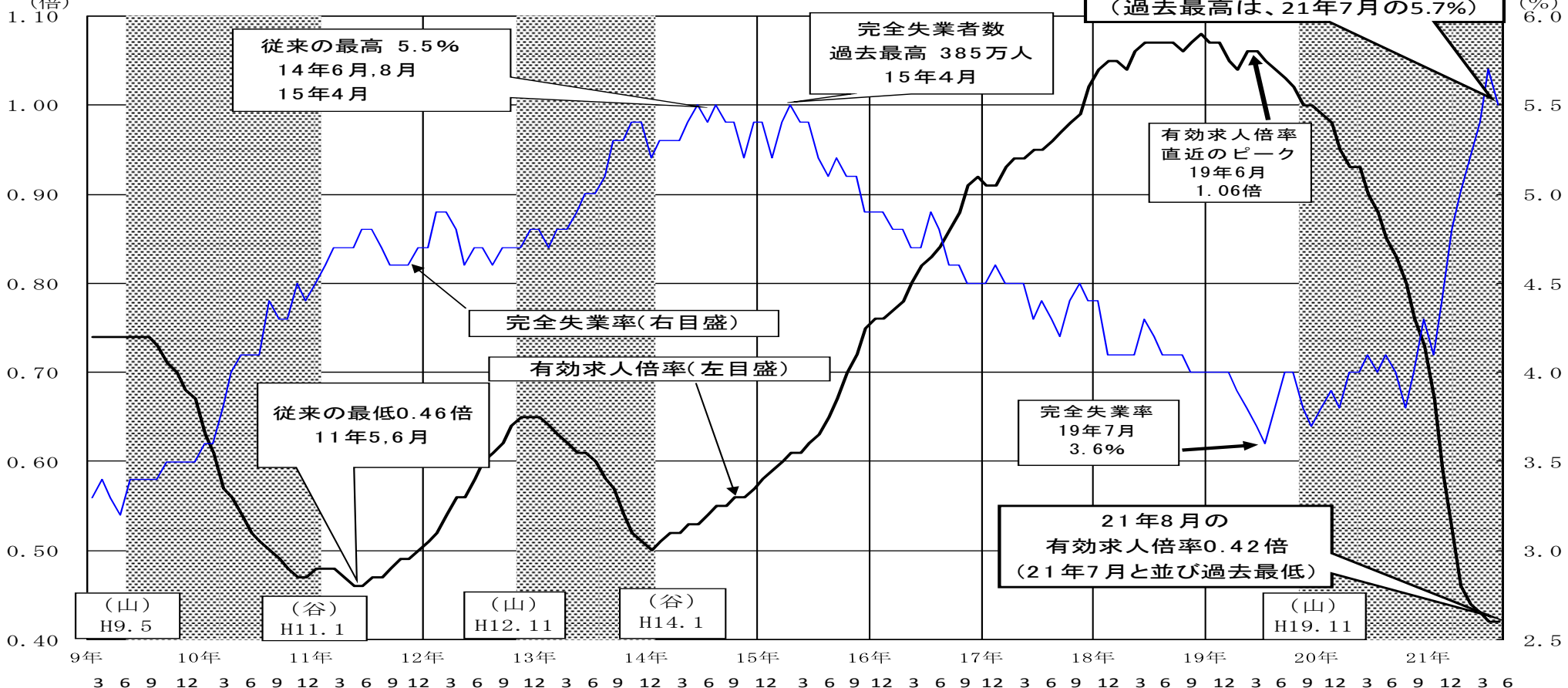


# 現下の雇用失業情勢 - さらに厳しさを増している -

- 完全失業率は、8月は**5.5%**と前月より**0.2**ポイント低下。
- 有効求人倍率は、8月は**0.42**倍と前月から横ばいで、**過去最低**の水準で推移。
- 有効求職者数は、引き続き**増加傾向**（8月は**295**万人で前月比**1.3%**増加（季調値））
- 新規求職者数は、2月をピークに**減少傾向**にあるが、**依然高水準**（8月は**67**万人（季調値））。
- 新規求人数は、前年の**4分の3**程度の**低水準**で推移（8月は前年同月比**24.2%**減少）。
- 日銀短観（9月調査）の雇用人員判断（「過剰」-「不足」）は、**全産業で過剰感は依然高水準**（+23→+20）。
- 製造業の過剰感も依然高水準（+37→+31）。
- 生産は、持ち直しの動きがみられるものの、極めて低い水準にある(実質国内総生産(前年同期比):▲8.7%(1-3月)→▲7.2%(4-6月))。

## 完全失業率と有効求人倍率の動向



(資料出所) 総務省「労働力調査」、厚生労働省「職業安定業務統計」  
 ※シャドー部分は景気後退期